



地域にも、社会にも

もっと、もっと“やさしい”

企業であるために。

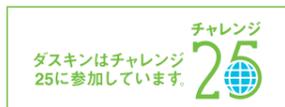
株式会社 **ダスキン**

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

TEL.06-6387-3411 (代表)

www.duskin.co.jp

GREEN REPORT 2012



一人ひとりのスタッフが、よりたくさんのお客様とともに ダスキンのエコのタネまき。

復興のため、ダスキンにできること

東日本大震災で被災された皆様には改めてお見舞い申し上げます。この震災で私達の社会が決して盤石ではなく、自然に許されて存在していることを思い知らされました。ライフスタイルや価値観の見直しを迫られ、人と人との絆や信頼関係の大切さを改めて問直した年でもありました。引き続き当社は、フランチャイズ加盟店と共に、事業活動を通じて、復興のお手伝いをしてまいります。

「仕事の第一は人間をつくることとありますように」

この1年を振り返ると、人と人との絆を持つ大切さをこれまで以上に実感した年だったと言えます。ダスキンのフランチャイズ加盟店を通じた多くのお客様とのつながりをより深い絆にすべく、昨年ダスキンは、「世界一ひとにやさしい企業を目指して」1人ひとりのお客様にあった「やさしさのかたち」を追求することを宣言いたしました。企業とは、社会の中で生かされている存在であり、企業活動そのものが人々と社会に貢献するものでなくてはならないと考えます。そしてそれを支えるのは、ダスキンで働くスタッフです。

どんなに時代が変わってもサービスの品質は「人」で決まる。この信念に基づいて、全国の事業所で一日の始まりと終わりに「仕事の第一は人間をつくることとありますように」と唱えるこの言葉は、スタッフ1人ひとりのお客様から信頼される「人」としての成長を目指す決意にほかなりません。素晴らしいお客様との出会いに備えてこれからも自分を磨き続け、お客様にあった「やさしさのかたち」を追求いたします。

「ダスキンらしい節電対応」

行政からの節電協力に対し、ダスキンでは、対象地域や事業特性に応じた目標を掲げて取り組みました。更にミスタードーナツの新店舗では、2012年度よりLED照明を標準仕様とすることを決定しました。

商品・サービスにおいてもお客様の節電を応援する新提案がご好評をいただいています。循環型ビジネスモデルであるレンタル商品としてモップ&ダストクリーナーによる掃除機を

使わないお掃除方法に多くのご支持をいただきました。サッとモップを取り出し、掃き集めたゴミをダストクリーナーで吸いとるこの商品セットは、お客様の住まいと家族の健康を目指し、節電にも協力できるダスキンらしいエコです。

「行動基準に基づく全員参加の環境経営」

これらの取り組みはすべて「ダスキン行動基準」に沿ったものです。この行動基準は「相手の身になって考え、行動する」ための理想的な姿を示したものと2004年に制定されました。その背景には、ダスキン創業者・鈴木清一の想いである「喜びのタネまき」と、そこから生まれたダスキン環境宣言「身近に、未来に、エコのタネまき。」が息づいています。

「エコのタネまき」はお客様とともに取り組む活動として発展し、2006年に始まったクリーンアップマイタウン活動ではこれまで約90箇所まで延べ約11万人の方にご参加いただきました。昨年は「第1回大阪マラソン」の公認清掃ボランティア活動として、マラソンスタート会場の大阪城公園で645人が清掃活動を行い、約230kgのゴミを集めました。これからも1人でも多くのお客様とともにエコのタネまきを進め、芽が出て大きく成長するよう、大切に育てていきます。

「これまで以上にお役に立つ企業を目指して」

ダスキンは2013年、創業50周年を迎えます。当社は2012年度を最終年度とする中期経営方針を2010年度より推進してきました。しかしながら、昨年3月の東日本大震災の発生とそれに伴う原発問題、海外情勢の大きな変化等、方針策定時に想定していなかった事態が発生したことや原油・穀物等原材料価格が想定以上に高騰したことを受け、再度課題を

抽出し直し、その対応や解決策を策定する必要があると判断し中期経営方針を見直しました。

2012年度からの3年間は、これまで以上にお客様のお役に立つ企業として改革を進めます。新たな中期経営方針で目指す姿は、「親身になってくれて、身近で利用しやすいダスキン」です。経営理念の実践を通じて、すべてのお客様に実感いただけるよう、商品開発から販売チャンネルまでの仕組みの改革、改善を進め、更に「お客様から支持されるブランド」になることを目指します。今後ともご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



株式会社ダスキン
代表取締役社長 山村輝治

ダスキンの環境宣言

身近に、未来に、エコのタネまき。

おそうじ用具のレンタルからはじまり、
ものを大切にしてきたダスキンは、地球の未来を大切にするため、

くりかえし使う・みんなで使う・減らす・捨てない、
これらの視点で、商品・サービスの開発、生産、お届けから使用後までの
企業活動のすべてを見直し、さらに取り組みを進めます。

「喜びのタネまき」の精神に、エコのタネをのせて。
ダスキンは、身近なところから未来にむかって、
エコロジーを育てていきます。



[環境シンボルマーク]

ダスキン環境方針

私たちダスキンは、環境保全と企業経営の両立に全力で取り組み、生産から使用後まで、
安全で安心、環境保全に配慮した商品・サービスを提供します。

1.環境負荷が少ない商品・サービスの設計・開発・選択

原材料の調達から商品の製造、お届け、お客さまによるご使用、使い終わった後の回収再生や処分まで、すべての段階に配慮し、安全・安心で環境負荷低減に貢献する商品・サービスを開発し採用します。商品や資材の循環活用を推進し、資源のもつ価値を十分に活用します。

2.環境負荷が少ない工場稼働

省資源で省エネルギーな工場稼働に努めます。廃棄物や環境負荷となる排出を抑制すると共に、排出物のリサイクルや有効活用を推進します。公害や事故を発生させない工場稼働に努めます。

3.環境負荷が少ない物流と営業・販促活動

ムダのない、効率的な商品流通・物流と営業活動に努めます。車両活用に伴う排ガス汚染の軽減、CO₂排出の削減に取り組みます。環境保全に、より優れた商品・サービスの積極的販売を推進します。

4.環境負荷が少ないオフィス活動や施設・設備

省資源で省エネルギーなオフィス活動を推進します。グリーン購入により、環境負荷の低い物品の活用を推進します。

5.環境負荷が少ない社会づくりへの貢献

法令や規律を守ると共に、環境保全を推進するための社会施策や要請に積極的に協力し、自らも貢献できる施策を検討し、実践します。



CONTENTS

TOP MESSAGE	P02
CONTENTS・編集方針・会社概要・経営理念・経営目的	P04
事業紹介	P06
● 環境報告	
環境マネジメント	P08
マテリアルバランス	P09
省エネ・温暖化対策	P10
水資源の有効活用	P13
循環型社会への取り組み	P14
エコ商品・サービス	P17
● 社会への取り組み	
私たちダスキンができること	P18

編集方針 環境報告書として12回目の発行となる本報告書では、環境への取り組みテーマごとに、各事業の特徴と環境に与えている影響、及びそれらを緩和・改善するための具体的事例をご報告しています。ぜひ一読いただき、ご意見を頂戴できれば幸いです。

対象期間 2011年度(2011年4月～2012年3月)を主な対象としていますが、2010年度以前および2012年度の活動についても一部掲載しています。

対象範囲 株式会社ダスキン
国内の関係会社およびフランチャイズチェーン店舗

参考ガイドライン 環境省「環境報告ガイドライン2012年版」
環境省「環境会計ガイドライン2005年版」

お問い合わせ先 株式会社ダスキン
品質保証・リスク管理部 品質保証・環境推進室
TEL:06-6821-5801 FAX:06-6821-5703

会社概要

社名(商号)	株式会社ダスキン 【DUSKIN CO., LTD.】
本社	〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1番33号
代表者	代表取締役社長 山村 輝治
設立	1963(昭和38)年2月4日
資本金	113億円(2012年3月31日現在)
全国チェーン店お客様売上高 [※]	4,154億円(2012年3月期)
従業員数(単体)	2,039人(2012年3月31日現在)

[※]全国チェーン店お客様売上高は、国内外の直営店・子会社売上高及び加盟店推定売上高の合計を参考数値として記載しています。

■ 2011年度全国チェーン店お客様売上高構成比



[※]単位:億円(単位未満切り捨て)

経営理念

祈りの経営ダスキン **経営理念**

一日一日と今日こそは
あなたの人生が(わたしの人生が)
新しく生まれ変わるチャンスです

自分に対しては
損と得とあらば損の道をゆくこと

他人に対しては
喜びのタネまきをすること

我も他も(わたしもあなたも)
物心共に豊かになり(物も心も豊かになり)
生きがいのある世の中にする

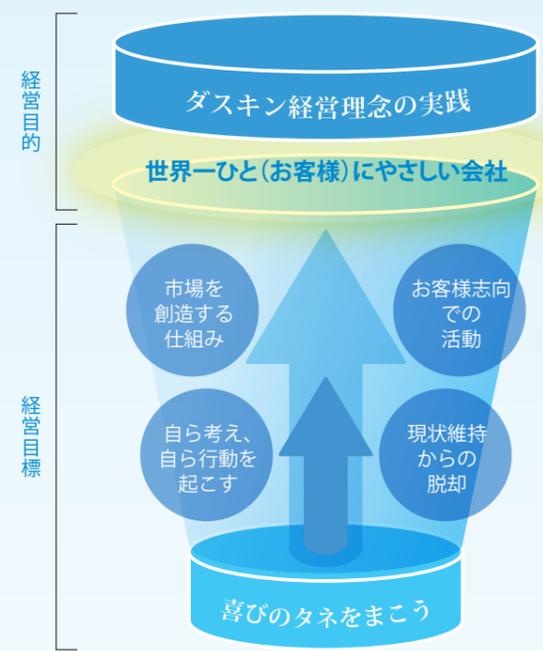
合掌
ありがとうございました

経営目的

ダスキン経営理念の実践を通じて「世界一ひとにやさしい会社」を目指します。

お客様に「世界一お客様にやさしいダスキン、ミスタードーナツ」と感じていただくために、加盟店と本部が一丸となって抜本的な改革を実行し、市場環境の変化、お客様の要望、それからの「一歩先」を行く商品やサービスが提供できるダスキンに変えていきます。

しかし、いつの時代も変えてはいけないものがあります。それは、ダスキン経営理念の実践(道と経済の合一)です。



日本全国で展開するダスキン

日本中の街に広がる

[フランチャイズシステム] & [定期訪問サービス]

ダスキンでは、フランチャイズシステムを通じて高品質な商品・サービスをお届けできるお店を全国に展開してきました。そして同時に、定期的にお客様のもとを訪問し、ご要望にお応えすることで、これまで多くのご支持をいただけてきました。

地域の特性に合わせた体制を強化!

お客様のご要望にスピーディーにお応えするため、各地域の体制を強化。全国チェーンの枠にとらわれず、地域の実情にあわせ、よりご満足いただける商品とサービスをお届けします。



生産本部

全国に46の生産事業所を展開し、レンタル商品の店舗からの回収、洗浄や乾燥、資材の購買、店舗への配送を担っています。



本社部門

ダスキンのフランチャイズ活動全般をサポート。フランチャイズシステムを支える、新たな商品・サービス・仕組みの開発や、教育・研修などを行っています。



クリーンケアグループ

CLEAN CARE GROUP

もっと、きめ細かに もっと、お客様の暮らしのなかへ。 快適という“やさしさ”を。

クリーン・ケア事業

ダストコントロール



清掃・衛生用品のレンタル&販売

サービスマスター



家庭・事務所向けのプロのお掃除サービス

メリーメイド



便利な家事代行サービス

ターミニックス



害虫獣の駆除・防除サービスと衛生管理のお手伝い

トゥルグリーン



庭木のお手入れと管理サービス

ドリンクサービス



天然水・コーヒーの定期お届けサービス

ユニフォームサービス事業



ユニフォームのリース&クリーニング

ヘルス&ビューティ事業



美容と健康をお手伝いする自然派化粧品と健康食品の販売

ホームインステッド事業



高齢者ご家族のための暮らしのお手伝い

レントオール事業



ベビー・トラベル用品からイベント用品まで総合レンタルサービス

ヘルスレント事業



介護・福祉用具のレンタル&販売

ダスキンヘルスケア事業



病院施設の清掃、手術室の高度衛生管理、院内滅菌、受付・エスコート

フードグループ

FOOD GROUP

お客様の「おいしい笑顔」のために もっと、もっと、できることを。

ミスタードーナツ事業



手づくりドーナツと多彩なメニューでおもてなし

カフェデュモンド事業



カフェオレとベニエが看板メニューの気軽なお店

スティック・スイーツ・ファクトリー事業



スティックタイプのケーキが人気、おしゃれなスイーツのお店

かつアンドかつ事業



ファミリーでご利用いただける とんかつレストラン

ザ・どん事業



新鮮な食材にこだわった どんぶりの専門店

次ページ以降、取り組みごとにその活動を行ったグループをアイコンで表示しています。

CLEAN CARE : クリーンケアグループ **FOOD** : フードグループ **生産** : 生産本部

環境マネジメント

ダスキンでは、1998年に環境理念及び環境方針を制定し、翌1999年から各事業のISO14001の認証取得を開始いたしました。2008年には環境宣言を制定し、全社的な環境経営に取り組んでいます。

主な取り組みテーマの一覧

○:目標達成 △:70%以上達成 ×:70%未満

取り組み内容		2011年度目標	2011年度の実績	評価
全社	電気使用量の削減	直営・関係会社合計42,808kWh以下	直営・関係会社合計39,826kWh	○
	紙使用量の削減	直営・関係会社合計59,112kg以下	直営・関係会社合計68,670kg	△
クリーンケアグループ	可燃・不燃ごみの減量化 (ダストコントロール事業)	36,978kℓ以下に抑制	30,661kℓ	○
	低排出ガス車への切り替え (ダストコントロール事業)	5,900台以上の導入	6,550台を導入	○
生産本部	燃料使用によるCO ₂ 発生量の削減	対前年1,162t-CO ₂ 以上の削減	3,027t-CO ₂ の削減	○
	配送車両の燃費向上	平均燃費7.10km/ℓ以上	平均燃費6.89km/ℓ	△
フードグループ	ドーナツ廃棄量の削減(ミスタードーナツ事業)	2008年度比10%以上の削減	9.6%の削減	△
	全店平均水道使用量の削減(ミスタードーナツ事業)	2008年度比2%以上の削減	17%の削減	○

4つのエコ いままでずっと大切にしてきたことを、これからもずっと大切に。

ダスキンのレンタル事業は仕組みそのものがエコ。積極的な環境保全活動を行い、サステイナブル(持続可能)な暮らしのあり方を提案してきました。

これからも、環境に配慮した商品・サービスの開発や、さまざまな社会貢献など、全社を挙げて「ダスキンのエコ」を推進していきます。

1 くりかえし使うエコ

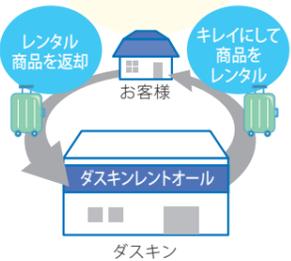
創業当初より、お掃除用具の生産・販売(お届け)・回収をくりかえす、循環型の事業活動に取り組んでいます。



全国のお客様にお届けするモップやマットは回収され、その内96%は生産事業所で再び商品化されています。

2 みんなで使うエコ

ひとつのモノをみんなで使う。そうすることで、限りある大切な資源を有効活用しています。



ベビー用品や介護・福祉用具など、さまざまな商品をレンタルするレントオール。「みんなで使う」ことにより、資源の有効活用にも貢献しています。

3 減らすエコ

人と環境への負荷を「薬剤」と「施工方法」の両面から減らしています。



お掃除サービスでは、安全性が高く環境への負荷が低い薬剤を使用。害虫駆除サービスでも薬剤の散布を減らし、少量で効果を発揮する施工法を積極的に推進しています。

4 捨てないエコ

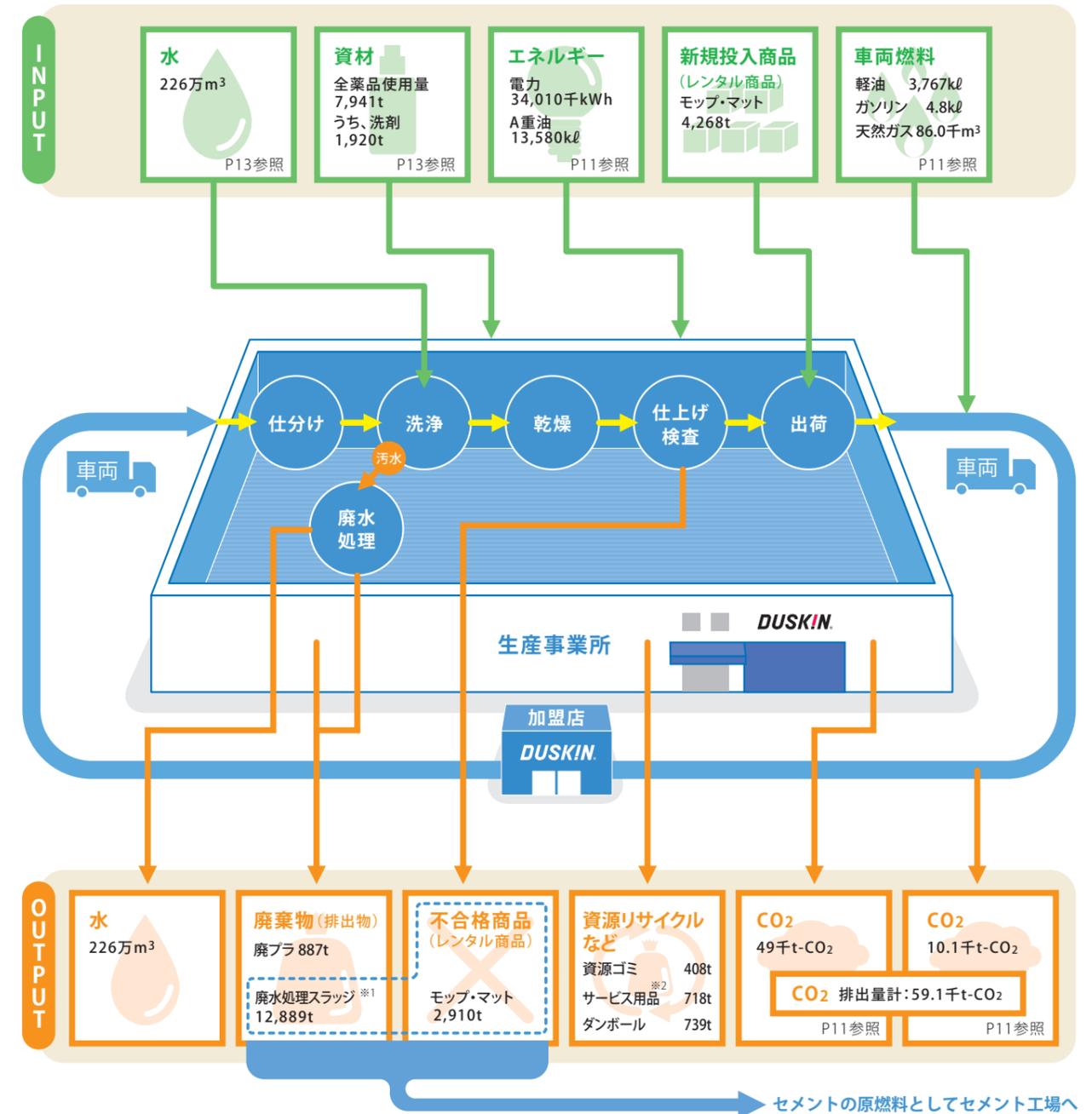
食器は使い捨ての紙製を使わず陶器やガラス製に。ゴミの排出を減らしています。



ミスタードーナツは1974年より、陶器・ガラス製の食器を使っています(フードコートのお店などは除く)。使い捨て製品の利用を減らすことで、ゴミの排出を極力抑えています。

マテリアルバランス

レンタル商品の洗浄・仕上げ・出荷のサイクルにおける2011年度の主な環境影響をプロセスごとに示しています。



※1 スラッジ: 汚水からホコリや汚れを分離して固めたもの
 ※2 サービス用品: モップの柄・空気清浄機本体・浄水器本体など

省エネ・温暖化対策

ダスキンは2010年10月、改正省エネ法における「特定連鎖化事業者」に指定されました。これからも、フランチャイズチェーン全体での省エネルギー活動推進を通じ、温室効果ガスの排出削減を着実に進めていきます。



物流面での改革を推進しました!

生産本部 物流部
仲岡 勝弘

配送車両の運行をコントロールするシミュレーションソフトをダスキンでオリジナルに開発することにより、配送ルートの見直しを2010年秋頃より開始しました。地域の担当者とともに全国を駆け回り、現地説明と調整を繰り返してきました。結果、2011年春頃より効果が出始め、大幅なコスト削減、ならびに配送車の移動距離や給油量において約5%削減の効果を生むことにつながりました。

配送ルートは長い年月をかけて培われたもので、あまり見直しをしてこなかった領域でしたが、あらためて実態について調査分析を行い、全体最適を目指したものです。



生産

生産事業所でのCO₂排出量の削減

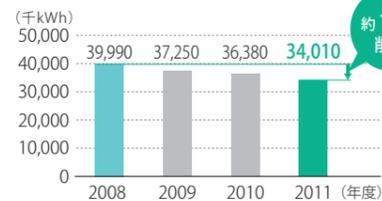
生産事業所での節電活動や省エネ操業、輸送におけるエコドライブ運転を継続的に実施することで、2011年度のCO₂排出量は2008年度比で約22%削減できました。



生産事業所での電気使用量の削減

夏の節電対策として、ラインにおける各設備の効率的な運転やメンテナンス、照明の間引きや消灯の徹底、空調温度の制御、それを支える全スタッフの意識向上に取り組みました。

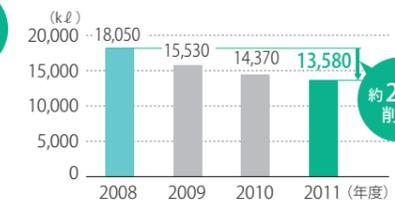
電気使用量/生産事業所



生産事業所での燃料使用量の削減

洗浄したモップやマットを乾燥する大型乾燥機では重油などの燃料を使用します。効率的に燃料を使用するため、ロスを見える化し、配管やタンクの保温、定期的なメンテナンスの実施、季節変動を考慮した乾燥温度や時間制御により2008年度比で約25%削減しました。

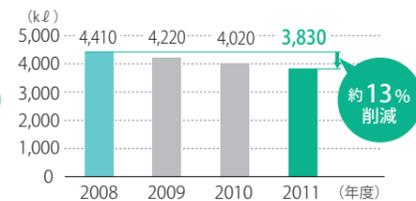
燃料使用量(重油換算)/生産事業所



配送車燃料使用量の削減

2010年度に全配送車に設置した運行管理機器のデータを用いて配送ルート効率化を進めるとともに、平均燃費を向上させたことで、配送車の燃料使用量を2008年度比で約13%削減できました。

配送車燃料使用量(原油換算)/生産事業所



環境会計

配送ルート最適化

シミュレーションソフトを使用し配送ルート最適化することで、配送車両の走行距離や給油量を大幅に削減させることができました。生産事業所から加盟店へ、ダスキンモップやマットなどの配送のため全国約350台の配送車両が運行しており、2010年度に年間10,533t-CO₂を排出していましたが、2011年度には10,060t-CO₂排出量まで減らせる見込みとなりました。燃料購入費だけでも年間21万円の経済効果を生むことにつながりました。



投資額 (シミュレーションソフト) **7百万円**

経済効果 (燃料購入費減) **21百万円/年**

物量効果 (燃料購入量減) **473 t-CO₂**

エコドライブ推進

ダスキンでは2007年より、モップやマットのお届けなどに使用する営業車両で「アイドリングストップ活動」をスタートしました。2009年からは、活動項目を拡大し「エコドライブ推進活動」として、「エコドライブ推進ガイド」による取り組みの周知や、年に3回発行される「エコドライブ通信」などを通じての取り組みの推進を行っています。

■アイドリングストップ等による効果 2011年度実績(2011/4~2012/3)



※1分間のアイドリングストップによるCO₂排出量を約23gと仮定して試算

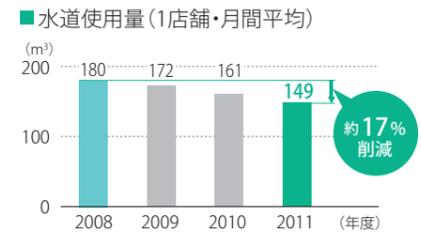
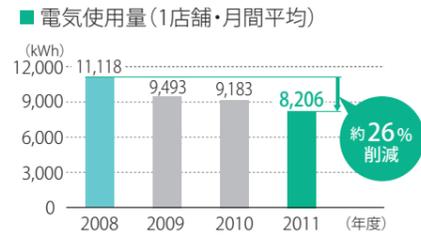


営業車両

省エネ・温暖化対策

FOOD
ショップの省エネ

お客様をお迎えするショップでは、快適性にも配慮しながら、水道光熱メーターの管理やバックヤードのこまめな消灯など、省エネ活動を進めています。また、ミスタードーナツの新規にオープンするショップでは、LED照明の導入を推進しています。



■ CO₂排出量

年度	対象範囲	CO ₂ 総排出量	店舗平均(年間)
2009年度	1,314店	62,800t	47.8t
2010年度	1,357店	58,200t	42.9t
2011年度	1,380店	56,037t	40.6t

ショップの省エネ 具体例
パラペットサイン内部・店内照明のLED化

LED照明は消費電力が低く、なおかつ約40,000時間交換不要で経時の照度低下が少ないという特徴を持っています。ミスタードーナツではショップで使用する照明を改装に合わせて、LED照明に換える取り組みを進めています。



パラペットサイン



ショーケース

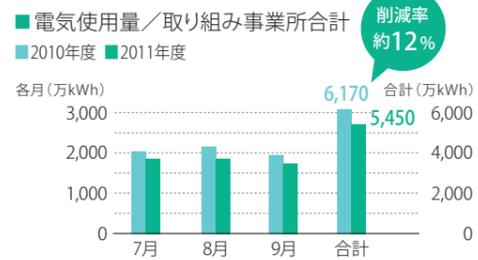
昨年の夏期節電対応

ダスキンでは、昨夏の東日本大震災に伴う電力不足への対応として特定地域だけの取り組みではなく、フランチャイズ加盟店を含む全国の事業所が一体となり積極的に取り組む方針のもと、活動を推進してきました。

訪問販売事業では、事務所内の照明の間引きや空調設定温度の遵守。店舗販売事業では、お客様の快適性に配慮しながら、照明や空調温度のコントロールに取り組みました。その結果、7月からの3ヵ月間で約12%の電気使用量を削減することができました。

今後も状況を確認しながら取り組みを行い、省エネ設備

の導入等、中長期的な施策を並行して進めることで、企業としての社会的責任を果たします。

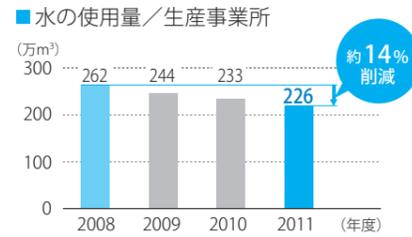


水資源の有効活用

ダスキンでは、水資源保全の基本理念として、「自然からお預かりしたものは、元の状態にして自然にお返しします。」という言葉が創業当初から語り継がれています。今後も変わらず、水資源の有効活用や水質の保全活動に努めます。

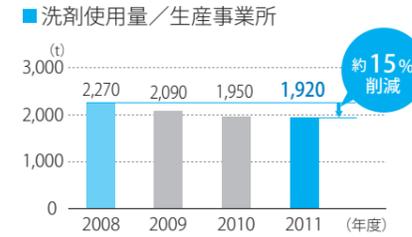
生産
生産事業所での水資源有効活用

ダスキンの生産事業所ではモップやマットの洗浄工程に多くの水を使用していますが、この処理水を洗濯水として再利用する取り組みを進めています。2011年度の水使用量は226万m³と、2008年度と比較して、約14%の削減になっています。



生産
生産事業所での洗剤の利用削減

生産事業所で使用する洗剤は、お客様にキレイなモップやマットをお届けするために欠かせませんが、水への影響を考えると、少ない量での効率的な使用が求められます。ダスキンでは洗浄水に特殊処理を施すことで、使用する洗剤量の削減に取り組んでいます。



CLEAN CARE
プロのお掃除での水資源保全

サービスマスターのカーペットクリーニングは、お客様のカーペットの状態に合わせてクリーニングの最適プランを提案しています。2010年度より、パイルにしみついた土砂汚れなどを、専用の薬剤・処理で結晶化させて回収除去する新技法、「カプセレーションクリーニング」の導入を進めています。この技法は、セミドライ方式のため、汚水の発生がウェット方式より少なく、乾燥時間が早く仕上がるメリットもあります。

厳選された採水地から、安全で安心な水をお届けします

日本の豊かな自然に育まれた水資源、その中から厳選された3つの採水地で採水された天然水を皆様の家庭やオフィスにお届けしています。ダスキンでは、いつも衛生的な状態で天然水をお飲みいただくため、外気にふれにくく、耐久性にもすぐれた2層構造の水バックを採用。冷水と温水の機能があるウォーターサーバーでいつでもおいしい水を身近にご利用いただけます。



東日本 秩父源流の天然水

秩父多摩甲斐国立公園に指定されている荒川源流域・大血川(おちがわ)渓谷の秩父源流の天然水はミネラル分が豊富です。

中日本 富山の天然水

3,000m級のアルプスに降り積もった雪が解け、地中深く浸み通った水を富山からお届けします。

西日本 大朝の天然水

中国山地の広葉樹の森に育まれ、北広島・大朝で採水する水は飲みやすく、甘みもある軟水です。

循環型社会への取り組み

お掃除道具のレンタルシステムを日本に定着させたダスキンは、ものを大切に、くりかえし使う、みんなで使う、減らす、捨てないという発想で事業活動を展開しています。



安全、品質、環境を大切に!



生産本部 大阪中央工場 工場長
横 隆嗣

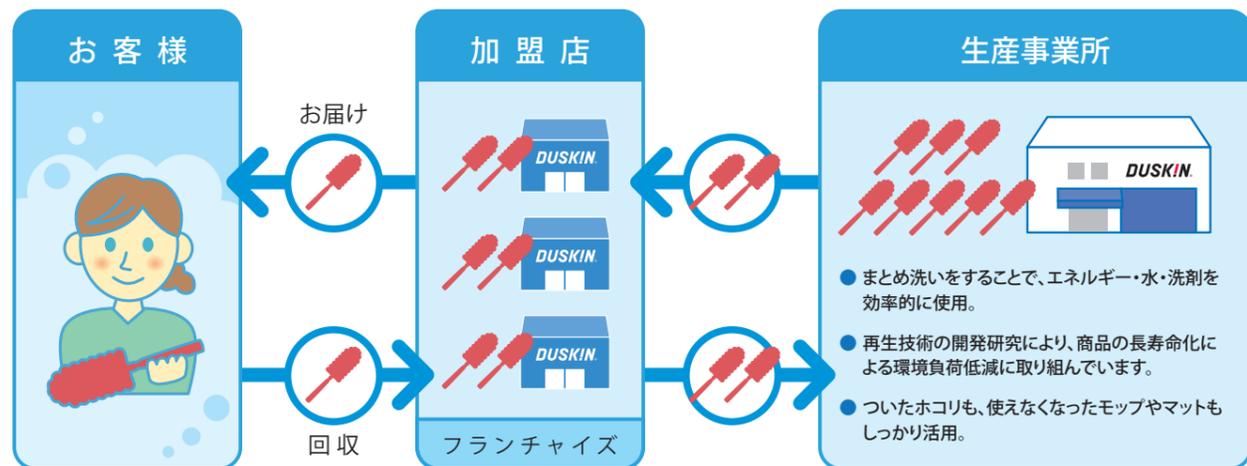
繰り返し洗って使うレンタル品を再生加工する役割を担っている生産事業所の中で規模的に上位に位置しているのが大阪中央工場です。平成8年6月に操業開始、130名のスタッフによってモップ換算で月間約500万枚ほどの再生加工を行っています。見学者も年間約1,000名ほど受け入れています。

地域に許されて存在できるのが生産事業所であると認識しており、少しでも環境に与える影響を少なくすることを常に心掛けています。洗濯した後の汚水は処理を行った後、下水道放流をしていますが自主基準値を設け、規制値よりはるかに低い値、BODで100mg/ℓを切る値(規制値は600mg/ℓ)を維持しています。

※BOD(生物化学的酸素要求量):水質指標のひとつで水中の有機物の量を酸化分解するための微生物が必要とする酸素の量を表したものです。

ダスキンの循環型レンタルシステム

レンタルシステムのメリットは、商品のライフサイクル全体を通じてダスキンでしっかりと環境管理ができることにあります。商品の開発から、廃棄時のリサイクルまで、環境に配慮した事業展開を推進しています。



モップで平均約20回、マットで平均約40回、繰り返し利用されています。常にベストの状態でご使用いただけることから、使い捨てとくらべて、お客様にとっても、ムダのないシステムです。



東南アジアでの車いすのリユースに協力します!



レントオール事業部 ヘルスレント運営室
山口 慎二

私はヘルスレント運営室として、環境ISOの事務局も担当しています。レントオールは事業の歴史もあり、環境ISOも10年以上運用していますが、ヘルスレントはまだ浸透の段階で、特に新しいスタッフに対して初期教育を実施しています。昨年、ヘルスレントで扱う車いすの再利用として、社会福祉法人を通じて東南アジアへの寄贈をテスト的に始めました。年数の経過した商品ですが、現地では購入すると非常に高価なものでもあり、大変喜んで頂きました。今後は手続きを整備し、加盟店からも寄贈出来るような仕組みを整えて、車いすのリユースに協力していきます。

資源を大切に扱うレントオール/ヘルスレントのレンタルシステム

ダスキンではベビー、トラベル、イベント用品や、介護・福祉用具のレンタル事業を展開しています。

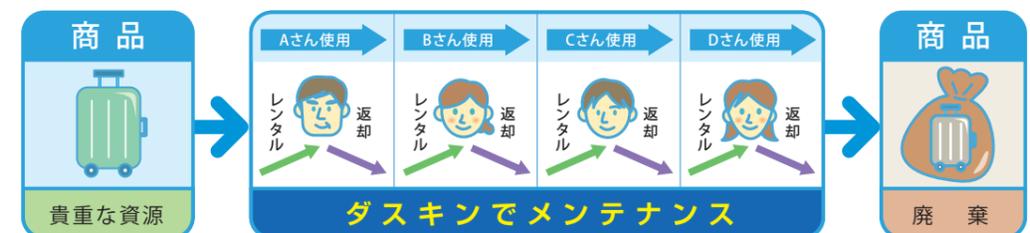


例えば、みんなが購入すると...



ベビー用品や介護・福祉用具、旅行・イベント用品は、購入すると高価で、使用期間が限定されるため資源のムダにつながるおそれがあります。また、お客様に廃棄の負担も発生します。

≫ダスキンにおけるレンタルシステム(シェアリング)なら



返却された商品はダスキンで確実なメンテナンスを実施。みんなで使うことにより、低コストで、必要なときに必要なだけ利用することが可能。商品本来の価値を最大限に活用して、資源のムダも省けます。

循環型社会への取り組み



残ったドーナツの
飼料化を進めます!

フードグループ 安全管理部
松本 英雄

安全管理部では、商品の品質に関する調査業務や店舗衛生に加え、環境保全の事務局機能を担っています。環境保全面では店舗での小まめな節電の取り組みに加え、廃棄ドーナツの削減に取り組んでいます。本来、環境面から見ると閉店時のドーナツは売れ残っていないことが理想です。しかし、ミスタードーナツでは閉店間際にご来店いただくお客様のために品ぞろえは大切であるとの考えから、閉店時にはどうしてもドーナツが残ります。さらにドーナツをおいしくお召し上がりいただくために当日に製造したドーナツのみをご提供したいとの思いから、残ったドーナツは廃棄することになります。そこでドーナツが飼料化できるとに注目し、廃棄ドーナツを100%リサイクルできるよう進めています。



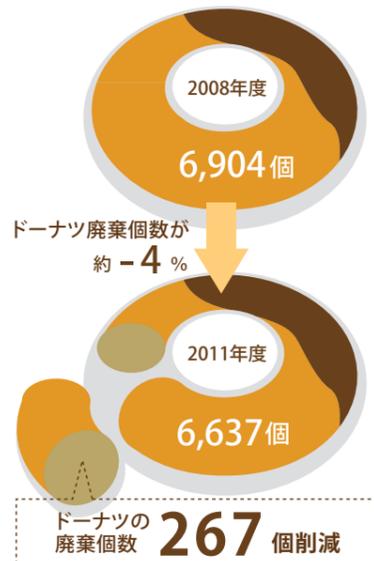
FOOD
ドーナツのリサイクル

ミスタードーナツでは、廃棄するドーナツ個数を適正に保つため、製造スケジュールの見直しや廃棄チェックリストによる管理を行っています。

閉店後に残ったドーナツは、飼料化処理工場で原料化して、そのまま飼料としてリサイクルしています。このシステムは現在、関東エリア362店及び東海エリア128店の合計490店(全店の約35%)で行っており、今後も対象店舗を拡大展開していく予定です。



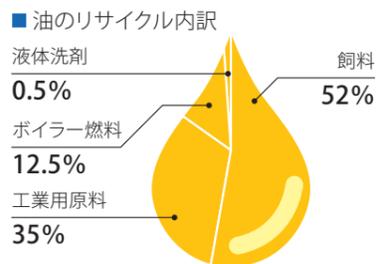
■ドーナツの1店舗当たりの月間廃棄個数削減比較



FOOD
油のリサイクル

ショップでは、ドーナツを調理する油の品質を適切に管理し、無駄なく使用できる取り組みを行なっています。

最終的に廃棄される油(年間約451t)は、全て回収し、飼料や工業用の原料としてリサイクル活用しています。そして、その一部は液体石鹸にリサイクルし、ショップの洗剤として利用しています。また、一部地域では、モップやマットを洗浄や再生するダスキンの工場でボイラーの燃料として活用しています。



エコ商品・サービス

ダスキンは、商品・サービスを通じて資源の有効活用に配慮しながらお客様の快適な暮らしへの貢献を続けていきます。



省エネにも威力を発揮します!

ダスキン服部南 マネジャー
大石 勇次

プロのお掃除サービスを行うサービスマスター事業の責任者として、サービスマスタースタッフ約70名の指導育成などに従事しています。お客様に「ありがとう」と言ってもらえた時にやりがいを感じています。昨年は電力供給不足に伴う節電取り組みへの対応として、エアコンクリーニングや、新サービスの窓用フィルム施工サービスの注文を多くいただきました。窓用フィルムを施工することで、真夏の室温上昇を約5C°※抑制することができお客様からもご好評をいただきました。ダスキンのエアコンクリーニングは、専用の洗浄機にてエアコン薬剤も専用のものを使用、内部のアルミ腐食を防止するなどの優れた特徴を持っています。



CLEAN CARE
レンタルモップ

繊維製品の紡績工程で発生する短繊維などの「未利用繊維」は従来、廃棄されていた部分ですが、この「未利用繊維」を使用したモップを「ノンオイルモップ・エコ」として商品化しています。



未利用繊維10%以上
エコマーク認定番号
第04104163号

CLEAN CARE
家庭用洗剤の詰め替え用パウチ

キッチンやお洗濯、お風呂のお掃除で身近に使用する洗剤類には、パウチタイプの商品をラインナップしています。軽量で、本体容器を繰り返し使用できることで省資源となります。また、現在5種類の商品で、エコマークの認定を受けて表示しています。



CLEAN CARE
窓用フィルム施工サービスの導入

サービスマスターでは2010年度より、新サービス「窓用フィルム施工サービス」を導入しました。グリーン購入法の特定調達品目でもある日射調整フィルムの施行を行うことにより、紫外線を99%※1以上カットして、お部屋や家具などの褪色を低減できる他、赤外線を90%※2以上カットして室温の変化を抑え、空調負荷低減による省エネルギーにも役立ちます。



※1 住友スリーエム株式会社製品仕様
※2 遮熱・UVカットタイプ(Nano80S)使用時:
住友スリーエム株式会社調べ

私たちがダスキンができること

私たちダスキンは、「喜びのタネをまこう」の理念のもと
人に、地域社会に、子どもたちの未来に貢献できる企業でありたいと願っています。



クリーンアップマイタウン

創業以来、全国の拠点周辺で清掃活動を続けてきたダスキン。この活動を地域のみならず一緒にできれば、という想いから『クリーンアップマイタウン』は始まりました。各地のイベント会場などで、来場者と一緒にゴミを集めて分別し、これまで約90箇所延べ11万人の方に参加いただきました。これからも街をキレイにする活動を行っていきます。



喜びのタネまき新聞

1971年創刊のダスキンとお客をつなぐコミュニケーション紙。"読む人の幸せ"をテーマに、毎号心温まるエピソードなどを掲載しています。



キッズタウン(ホームページ)

子どもたちに、お掃除や環境問題を楽しく学習してもらえるWebサイト。バーチャル工場見学やゲーム、読み物など充実した内容です。



学校教育支援活動

子どもの段取り力や協調性を育むことを目的として学校の掃除時間を活用。教育支援カリキュラムの提供や、先生方を対象とした研修の支援などを行っています。



大阪マラソン

「第1回大阪マラソン」が2011年10月30日に開催されました。総勢29,163人の出走者のうち、ダスキンランナー48人も完走しました。ダスキンはこの大会で公認清掃ボランティアとして参加し、ランナーの皆様がスタートした後の大阪城公園で645人の関係者がクリーンアップ活動を行い、約230kgのゴミを回収しました。



ダスキン生産事業所見学

ダスキンでは小学3年生～6年生を対象に、生産事業所見学を実施しています。汚れたモップやマットを回収し再び商品化されるまでの工程を実際に見てもらうことで、次世代を担う子どもたちに、ものの大切さや自然環境を守る重要性を学んでもらうことが目的です。



ライトダウンキャンペーンに参加

ダスキンでは、環境省が主催するライトダウンキャンペーンに2004年から参加しています。2011年の夏は東日本を中心とする夏期の電力需給問題にも取り組む「昼も。夜も。節電ライトダウン2011」として、全国の拠点に期間を通じて自主的なライトダウン実施の呼びかけを行い、全国370の施設で広告塔や屋外看板、オフィスなどの消灯を実施しました。



「エコプロダクツ2011」に出展

2011年12月15日(木)～17日(土)の3日間、東京ビッグサイトで752の企業や団体が出展する日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ2011」が開催され、ダスキンも出展しました。今回はうどん屋を舞台にした喜劇風「ダスキンエコ劇場」を上演し、この他にもお掃除体験、各事業の商品・サービスに関するエコな取り組みを紹介するクイズラリーを実施しました。3日間で延べ13,596の方に訪れていただきました。



ダスキンにできる震災復興支援

2011年3月の東日本大震災以降、ダスキンでは独自の復旧支援を行っています。震災直後から避難所へモップ・マットの提供やドーナツのお届けを行い、6月1日には岩手・宮城・福島の仮設住宅約35,000戸にお住まいの皆様様に衛生面で役立てていただくためにハンディモップを3か月間と、台所用スポンジを提供しました。被災地への飲食物品提供の取り組みに対して農林水産大臣から感謝状をいただきました。

上記のイベント情報や環境への取り組みなどを紹介しています。ダスキンホームページ <http://www.duskin.co.jp>
子どもたちが身近な環境問題やお掃除について楽しく学べます。ダスキンキッズタウン <http://www.duskin.co.jp/kids>



エコTシャツデザイン大賞を開催

雑誌「Pen」とタイアップし、エコを楽しく伝えるTシャツのデザインを一般から募集する「DUSKIN×PenエコTシャツデザイン大賞」コンテストを開催しました。ダスキンの4つのエコに環境保全活動スローガンを加えた5つのテーマで募集し、寄せられた2,170点の作品に対して4万4,075票もの投票をいただきました。グランプリ作品はダスキンが協賛、出展するイベントでスタッフのTシャツとして活用されました。



ダスキン愛の輪基金



ダスキン愛の輪基金

1981年に「財団法人 広げよう愛の輪運動基金」として設立。障害がありながら自立を目指す日本の若者たちを海外に研修派遣し、障害者のリーダーを育成する事業としてスタートしました。1999年からはアジア・太平洋地域の障害のある若者を日本に招き、母国で活躍する障害者福祉リーダーとしての育成も開始しました。2010年12月には厚生労働大臣表彰を受賞。2011年12月、公益財団法人の認定を受けるにともない、名称を「公益財団法人 ダスキン愛の輪基金」に変更しました。